

## 1. 実践研究テーマ

### 学力向上を図るためのわかる授業づくり

## 2. 取組の内容(協力校等との連携等を含む)

#### ①基礎学力の定着

朝の活動「ことばの時間」

(語彙を増やすために・初読の力をつけるために)

- ・国語読解力ドリルの活用 ・言葉集め ・漢字ミニテスト
- ・ドリルタイム 計算の基礎を定着させるため下学年向けを使用



#### ②基本的な生活習慣の確立

- ・ほけんだより・・・・・・・・・・・・・・・・生活リズムを整えることの大切さを継続して伝える
- ・食育掲示・・・・・・・・・・・・・・・・クイズやイラスト・写真で楽しく
- ・・・・・・・・・・・・・・・・・学び、会話を増やす

#### ③授業力の向上

- ・「一人一授業公開」・・・・・・・・児童の学習改善かつ
- ・・・・・・・・・教師の指導改善に
- ・・・・・・・・・つながるものをめざす



#### ④仲間づくり

- ・安心して学べる環境・・・・・・・・自他の意見や考えを尊重する
- ・・・・・・・・・「異学年交流」・・・交流によって
- ・・・・・・・・・育まれる前向きな気持ちが学習につながり学力向上
- ・・・・・・・・・となる

#### ⑤授業参観・研究会を通じた小中連携の推進

- ・課題や実践の共有・・・・・・・・中学校校区の連携、校種の違う観点から

#### ⑥家庭への啓発

- ・・・・・・・・学校だより、ホームページ、学力向上だより

## 3. 取組の成果

### ○ 教職員の変容

- ・「学校力コラボレーション事業」で他校と交流し情報交換をすることにより、よい取組や活動、教材を取り入れることができた。
- ・研究授業においては、指導案づくりの段階から、学習の流れや板書計画等について相談し、助言を受けることができた。

### ○ 児童生徒の変容

- ・全学年が読解力ドリルに取り組み、様々なジャンルの文章に親しみ、語彙を増やすことができた。
- ・ペア学習やグループ学習等を取り入れることで、話し合いの機会が増え、考えをまとめたり深めたりする活動に慣れてきた。

## 4. 2年間の実践を振り返って

今年度は初読の力を育成するために「ことばの時間」の内容を統一し、取組を継続した。また、わかる授業づくりを前進させるために、効果的なICTの活用などの取組とともに、児童のつまずきに対応する手立てについても考え、実践することができた。今後も、2年間の研究での学びをもとにわかる授業づくりを前進させ、学力向上を図っていきたい。